

GJ チャレンジ制度の概要

(1) 目的

現行 GJ 認定の取得促進に繋げるため、GJ 認定制度取得の前段として活用いただけるよう新たな認定制度を創設します。

※従来どおり、GJ 認定制度を直接取得いただくこともできます。

(2) 受審資格

- 将来的に GJ 認定を取得する意思がある企業が対象です。
- GJ チャレンジ制度では、製造請負事業所の有無は問いません。

【補足】

製造業務には、複数の加工・組立て業務を結ぶ場合の運搬（構内物流）、選別、洗浄等の業務も含まれます。

(3) 有効期限

3 年間（更新不可）

ただし、一定の条件下で再申請は可能。

(4) 受審企業へのサポート

GJ チャレンジ制度の有効期限である 3 年以内に GJ 認定の取得を目指していただけるよう、GJ チャレンジ制度への受審企業に対し、GJ 認定受審および適正な請負へのサポートを実施します。

(5) 審査

(ア) 審査対象： 本社審査のみ、事業所審査は実施しません。

(イ) 審査基準： 経営方針、ものづくり力、ひとづくり力、労働者保護 合計 39 項目

現行 GJ 認定制度審査基準の本社審査項目を基準とし、製造請負事業所がないと審査できない項目は除外。

(ウ) 審査方法： オンライン審査

(6) 正式実施

2026 年度より実施予定

(7) 受審費用

現行 GJ 認定制度の半額程度になる見込みです。

注 2025 年度に実施するトライアルへは、無料で参加・受審できます。